

現場見学会

徳山商工高等学校／環境システム科・
環境土木科コース



「天候が悪くなった場合はどうするのか」などさまざまな質問がとび、中でも川の中での作業の難しさについて、質問が集中しました。土嚢や矢

板などによる方法を説明されるかたわら、「いかに現場を水のない状態にするかが大事であり、それが一番難しい」との言葉に、生徒の皆さんも大きく頷いていました。次に向かったのは、同じく山陽小野田市の小野田湾岸線にかかる新有帆川大橋（仮称）の建設現場です。小野田湾岸線は、「山口宇部小野田連絡道路」の一部として、整備が続けられているもので、山陽小野田～宇部～県央部の連携強化や市街地の渋滞緩和などを目的としています。メイン工事となる新有帆川大橋は、現在上部工の工事を進めています。

橋の上上がった生徒の皆さんは、はじめは足を竦ませる様子も見せていましたが、徐々に慣れ、普段は立つことのできない工事中の高架橋を踏みしめながら、興奮ぎみに橋からの眺めを楽しんだり、様々な質問をしつづけていました。見学後、お話を伺った3年の出井さんは「現場、機械、すべてが大きくて迫力がありました。大きな重機を扱われ、活躍されている作業員の方もすごかったですよかったです」と答えてくれました。また、同じく3年の吉野さんは「バックホーで土をつかんで、内側にひねって水を切る…そんな細かい

ことまで器用に重機で使えるんだと感動しました」と話してくれました。引率された同校の松井先生は「実際に現場に来ることが本当にいい刺激になるようで、生徒達もここにきてイキイキしています。工事の工程や機械を見られるのももちろんですが、社会に出て第一線で働かれている方々にお話を聞けるのが、何よりも大きな財産になるのではないのでしょうか。資質が花開く準備段階にある生徒達です。皆さんのものを吸収してもらえればと思っています」と語ってくださいました。好奇心の目をきらきらと輝かせて、積極的に見学をされていた皆さんの胸に、将来建設業の分野でも大きく羽ばたいてくれることを願っています。



**迫力だけではない
緻密な作業も現場で実感！**



松井先生

2012年度 高校生現場見学 参加校 (延べ11校 358名)

土木系学科	工事名	実施日	対象生徒	学校名
	厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業	5月22日	39名	田布施農工高等学校
	妻崎開作小野田線道路改築事業	6月6日	39名	徳山商工高等学校
	宇部港廃棄物埋立護岸築造工事	8月20日	37名	山口農業高等学校
		8月24日	11名	宇部西高等学校
		12月11日	39名	岩国工業高等学校
	三田尻中関港海岸高潮対策排水機場建設工事			
	御堂原川 通常砂防事業	6月7日	23名	萩商工高等学校
	国道490号山田バイパス道路改築工事			
	彦島大橋橋梁補修工事	6月14日	26名	下関中央工業高等学校
	国道435号美祢～豊田バイパス道路改築工事			
	合計	7校	214名	

建築系学科	工事名	実施日	対象生徒	学校名
		6月6日	41名	柳井商工高等学校
	(仮称)ふるさと学習館建設 (建築主体)工事	6月7日	34名	萩商工高等学校
	山口県立大津緑洋高等学校 寄宿舎新築工事	6月7日	30名	下関中央工業高等学校
		12月11日	39名	岩国工業高等学校
	合計	4校	144名	